

修正内容一覧

物質ID	物質名	CAS番号	項目	修正前						修正後						備考
				分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報	注意書き	分類根拠・問題点	分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報	注意書き	分類根拠・問題点	
12	スルファレート	95-06-7	急性毒性（経口）	区分4	感嘆符	警告	飲み込むと有害		IARC 30（1983）に、ラットで850mg/kgと記述されていることから、区分4に分類した。	区分4	感嘆符	警告	飲み込むと有害		IARC 30（1983）に、ラットでLD50値は850mg/kgと記述されていることから、区分4に分類した。	2013.10修正
13	2,3-ジプロモ-1-プロパノール	96-13-9	引火性液体	分類できない	-	-	-		データ不足で分類できない。（引火点は110℃超（カタログ）との情報がある。）	分類できない	-	-	-		データがなく分類できない。	2013.10修正
18	2,4,5-トリメチルアニリン	137-17-7	自然発火性液体	分類できない	-	-	-		GHSの定義における固体である。	分類対象外	-	-	-		GHSの定義における固体である。	2013.10修正
19	アラマイト	140-57-8	自己反応性物質および混合物	分類できない	-	-	-		爆発性または自己反応性に関する原子団を含まない。	分類対象外	-	-	-		爆発性または自己反応性に関する原子団を含まない。	2013.10修正
33	ラシオカルピン	303-34-4	自己反応性物質および混合物	分類対象外	-	-	-		爆発性に関する原子団を含まず、自己反応性原子団（C=C）を含むが、試験データがなく、分類できない。	分類できない	-	-	-		爆発性に関する原子団を含まず、自己反応性原子団（C=C）を含むが、試験データがなく、分類できない。	2013.10修正
36	1-クロロ-2-メチルプロペン	513-37-1	引火性液体	分類できない	-	-	-		データ不足で分類できない。（引火点-1℃（カタログ）やflammable liquid（Chemfinder）との情報がある。労働安全衛生法では危険物引火性の物。）	分類できない	-	-	-		データがなく分類できない。	2013.10修正
36	1-クロロ-2-メチルプロペン	513-37-1	自己反応性物質および混合物	分類対象外	-	-	-		爆発性に関する原子団を含まず、自己反応性原子団（C=C）を含むが、試験データがなく、分類できない。	分類できない	-	-	-		爆発性に関する原子団を含まず、自己反応性原子団（C=C）を含むが、試験データがなく、分類できない。	2013.10修正
42	2-ニトロナフタレン	581-89-5	自己反応性物質および混合物	クラスG	-	-	-		国連分類でUN2538、クラス・区分4.1、容器等級Ⅲ	タイプG	-	-	-		国連分類でUN2538、クラス4.1、容器等級Ⅲ	2013.10修正
50	N-ニトロソピロリジン	930-55-2	引火性液体	分類できない	-	-	-		データ不足で分類できない。（引火点83℃（カタログ）との情報がある。）	分類できない	-	-	-		データがなく分類できない。	2013.10修正
55	6,6'-（ビフェニル-4,4'-ジイルビスアゾ）ビス（4-アミノ-5-ヒドロキシ-2,7-ナフタレンジスルホン	2602-46-2	生殖細胞変異原性	区分2	健康有害性	警告	遺伝性疾患のおそれの疑い		ラットでのDNA付加体形成、マウスでのDNA損傷がみられ（RTECS, Access on Oct. 2007）、マウスリンフォーマ試験で陽性（NTP DB, Access on Oct. 2007）との知見があるものの、証拠の重みづけから十分なものではないと判断され、データ不足で分類できない。	分類できない	-	-	-		ラットでのDNA付加体形成、マウスでのDNA損傷がみられ（RTECS, Access on Oct. 2007）、マウスリンフォーマ試験で陽性（NTP DB, Access on Oct. 2007）との知見があるものの、証拠の重みづけから十分なものではないと判断され、データ不足で分類できない。	2013.10修正
65	クロム酸ナトリウム	7775-11-3	水生環境有害性（長期間）	区分1	環境	警告	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性		水生環境慢性有害性；急性毒性が区分1、金属化合物であり水中での挙動及び生物蓄積性が不明であるため、区分2とした。	区分1	環境	警告	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性		水生環境慢性有害性；急性毒性が区分1、金属化合物であり水中での挙動及び生物蓄積性が不明であるため、区分1とした。	2013.10修正
79	R-2,3-エポキシ-1-プロパノール	57044-25-4	発がん性	区分1B	健康有害性	危険	発がんのおそれ		本物質については、EUがCare. Cat. 2に分類しているが（EU（2007））根拠データの確認はできず、分類できない。なお、2,3-エポキシ-1-プロパノール（CAS No. 556-52-5）についてはIARCがグループ2A、日本産業衛生学会が2Aに分類している（IARC 77（2000）、日本産業衛生学会（2004））。	区分1B	健康有害性	危険	発がんのおそれ		2,3-エポキシ-1-プロパノール（CAS No. 556-52-5）についてはIARCがグループ2A、日本産業衛生学会が2Aに分類している（IARC 77（2000）、日本産業衛生学会（2004））ことより区分1Bとした。	2013.10修正
83	4-メチルベンゼンスルホン酸（S）-グリシジル	70987-78-9	高圧ガス	分類対象外	-	-	-		データなし。	分類対象外	-	-	-		固体である。	2013.10修正
07-D06	グアニルニトロサミン ノグアニルテラセン	109-27-3	水生環境有害性（長期間）	区分3	-	-	長期的影響により水生生物に有害		急性毒性が区分1であり、急速分解性がないと推定される（BIOWIN）ことから、区分1とした。	区分1	環境	警告	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性		急性毒性が区分1であり、急速分解性がないと推定される（BIOWIN）ことから、区分1とした。	2013.10修正

07-D15	トリニトロ安息香酸	129-66-8	自己発熱性物質 および混合物	分類できない	-	-	-	国連危険物輸送動告 クラス 1.1D (乾性のもの又は30質量%未満の水で湿性としたもの)は火薬類に分類され、クラス 4.2 容器等級II、IIIには分類されていないので区分外とした。(UN0215) 国連危険物輸送動告 クラス 4.1 容器等級I(30質量%以上の水で湿性としたもの)は純性火薬類に分類され、クラス 4.2 容器等級II、IIIには分類されていないので区分外とした。(UN1355) 国連危険物輸送動告 クラス 4.1 容器等級I(10質量%以上の水で湿性としたもの)は純性火薬類に分類され、クラス 4.2 容器等級II、IIIには分類されていないので区分外とした。(UN3368)	分類できない	-	-	-	当該物質は、国連危険物輸送動告では純品がUN0215(クラス 1.1D)は火薬類として分類されており、>30質量%以上の水で湿性としたものはUN1355(クラス 4.1PG I)として輸送している。これはGHSでは純性火薬類である。以上から国連危険物輸送動告では自己発熱性で区分できない、かつ自己発熱性のデータもないので「分類できない」とした。	2013.10修正
07-D24-1	ナトリウム2, 4-ジニトロフェノレート	1011-73-0	発がん性	区分外	-	-	-	データなし。	分類できない	-	-	-	データなし。	2013.10修正
07-D28	ジルコニウム (粉末)	7440-67-7	呼吸器感作性または皮膚感作性	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:区分1	呼吸器感作性:一 皮膚感作性:感嘆符	呼吸器感作性:一 皮膚感作性:危険	呼吸器感作性:一 皮膚感作性:アレルギー反応を引き起こすおそれ	呼吸器感作性:データなし。 皮膚感作性:(DFGOT 1999)ヒトに類上皮肉芽腫(epithelioid granuloma)性皮膚感作を起こすとの複数の疫学調査報告があることから区分1とした。なお、(MAK/BAT 2006)ではSah(呼吸器および皮膚アレルギー)に分類している。	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:区分1	呼吸器感作性:一 皮膚感作性:感嘆符	呼吸器感作性:一 皮膚感作性:警告	呼吸器感作性:一 皮膚感作性:アレルギー反応を引き起こすおそれ	呼吸器感作性:データなし。 皮膚感作性:(DFGOT 1999)ヒトに類上皮肉芽腫(epithelioid granuloma)性皮膚感作を起こすとの複数の疫学調査報告があることから区分1とした。なお、(MAK/BAT 2006)ではSah(呼吸器および皮膚アレルギー)に分類している。	2013.10修正
07-D35	塩素酸 (水溶液)	7790-93-4	水反応可燃性化学品	区分外	-	-	-	金属または半金属(B, Si, Ge, As, Se, Sn, Sb, Te, Bi, Po, At)を含んでいない。	分類対象外	-	-	-	金属または半金属(B, Si, Ge, As, Se, Sn, Sb, Te, Bi, Po, At)を含んでいない。	2013.10修正
07-D37	二硝酸イソソルビド混合物 (ラクトース、マンノース、ス	87-33-2	爆発物	分類できない	-	-	-	純物質は乾燥時に爆発性を有する(Bretherick)という情報があるが、「強心剤」が主用途であり、火薬としての評価は不明であり、分類できないとした。	分類できない	-	-	-	純物質は乾燥時に爆発性を有する(Bretherick)という情報があるが、「強心剤」が主用途であり、火薬としての評価は不明であり、分類できないとした。	2013.10修正
07-D38	一硝酸イソソルビド	16051-77-7	自然発火性固体	区分外	-	-	-	データなし。	分類できない	-	-	-	データなし。	2013.10修正
07-D38	一硝酸イソソルビド	16051-77-7	自己発熱性物質 および混合物	区分外	-	-	-	データなし。	分類できない	-	-	-	データなし。	2013.10修正
07-D38	一硝酸イソソルビド	16051-77-7	酸化性固体	区分外	-	-	-	データなし。	分類できない	-	-	-	データなし。	2013.10修正
07-D39	2-アミノ-4,6-ジニトロフェノール	96-91-3	爆発物	分類できない	-	-	-	純品は乾燥すると非常に激しく爆発する(Bretherick)ことが知られている。合成原料、分析試薬として用いられるもので火薬としての評価は不明であり、分類できないとした。 (20質量%以上の水で湿性としたもの国連危険物輸送動告 クラス 4.1 容器等級分類(UN3376)され、純性火薬類に該当する。)	分類できない	-	-	-	純品は乾燥すると非常に激しく爆発する(Bretherick)ことが知られている。合成原料、分析試薬として用いられるもので火薬としての評価は不明であり、分類できないとした。 (20質量%以上の水で湿性としたもの国連危険物輸送動告 クラス 4.1 容器等級分類(UN3376)され、純性火薬類に該当する。)	2013.10修正
98	[メチレンビス(4,1-フェニレンアゾ{1-[3-(ジメチルアミノ)プロピル]-1,2-ジヒドロ-6-ヒドロキシ-4-メチル-2-オキソピリジン-5,3-ジイル})]-1,1'-ジピリジニウムジクロリド	105994-38-5	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2022.09修正 CAS RNの情報を追記